

特選上方漫才

# SPレコード文句集成

岡田則夫  
編

## 解説「漫才文句カード集」

岡田則夫

「文句カード」は、レコードに録音された詞章（歌詞や言葉）を活字化した印刷物である。昔のSPレコードには録音が不完全で、語句が聴き取りにくいものもあり、そういう時の便宜をはかるために考案されたものと思われる。文句カードは袋に入れたレコードに添付して販売された。文句カード1頁の寸法はタテ約19.5cm×横13.5cmが各社標準寸法で、用紙は厚紙ではなく、新聞紙位の薄い紙が用いられ、裏が透けて見えるような粗末な紙質のものも多かった。大変散逸しやすいもので、特に漫才のような庶民向けのレコードは乱雑に扱われたためか、レコード本体よりも残存数が少ないのが現状である。文句カードに記載されている内容は、詞章のほかに、レコード種目、演目、演者名、作詞・作曲者名、レーベル名、レコード番号、レコード会社名や商標が印刷されている。発行日を記載しないのは、日本のレコード業界の商習慣であった。

文字化された漫才の文句はかなり正確である。俗語や駄洒落がぼんぼんと飛びかい、早口で言い立てる「阿呆陀羅經」や、滑稽なモジリ文句が連続する「でたらめお経」などの語句をよくこれだけ忠実に再現したものだと驚く。

漫才は明治中頃に上方で舞台芸として生まれた。同じ寄席芸でも講談や落語に比べてぐっと新しい芸能である。最初は「萬歳」と書き、時代がくだると共に「万才」、そして昭和に入ると「漫才」と表記するようになる。現在は「マンザイ」や「MANZAI」などの表記も普通になってきた。時代と共に書き表し方も変わり、演出法も演目も大きく変化してきた。

日本のレコードの初録音は明治36年2月の英国グラモホンであるが、その数年後の明治40年頃に桜川惣丸が日本初の漫才を米国コロムビアに吹き込んでいた。それから大正、昭和戦前を経て昭和20年代までにおよそ2900枚の漫才レコードが発行されている。漫才のレコードや文句カードを時代順に並べてみると、漫才の変遷がよくわかる。

録音した漫才師は東西合わせておよそ500人。なかでも砂川捨丸は300枚近くの漫才レコードを吹き込んだ大御所で、持ちネタも多く、まさに漫才の百科全書である。尾張萬歳の「地の内」を演じていた時代の古風な録音から、大正から昭和初期にかけての芸尽し万才華やかなりし頃の諸芸の数々。例えば、阿呆陀羅經、数え唄、色問答、カンカン問答、無理問答など各種問答、名鳥名木、チャリ義太夫、琵琶や詩吟、出鱈目お経、それから江州音頭、河内音頭、越中小原節、串本節などの民謡、

覗きカラクリや物売りの口上、端唄小唄や俗曲、流行唄、書生節、それに芝居や映画説明……など。活字化された文句カードの詞章は芸能史研究の貴重な史料である。

昭和に入ると、横山エンタツ・花菱アチャコに代表される、会話だけで演じる「しゃべくり漫才」が生まれた。表記も萬歳・万才から「漫才」が使われるようになった。エンタツ・アチャコは洋服姿で高座に上がり、会話の内容はスポーツや家庭の話題や身近なニュースといった現代に視点を置いたざん新なもので、口調も大阪弁出しでなく「君」「僕」といった標準語に近い言葉を用いた。本書に収載した「早慶戦」は代表作だ。また、下ネタを避け、家族揃って楽しめる健全な内容だったのでラジオの電波にも乗るようになり、秋田実氏の名作が次々にレコード化されるようになった。

しかし、漫才の世界がすべて「しゃべくり漫才」一色になったわけではなく、従来の芸尽し萬歳も人気を得ていた。特にレコードは音曲性があるものが好まれ、売れ行きは従来の芸尽し萬歳の方に軍配が上がったようだ。天才的なしゃべくりには、音曲を加味したミスワカナ・玉松一郎のレコードは飛ぶように売れた。

漫才師たちは新しいものに敏感で、流行物や先端的な風俗、世間を騒がせた事件などをすぐさまネタにし、戦時下には、防空演習、木炭車、慰問袋、千人針など、軍国時代の暮らしぶりを滑稽に洒落のめしている。庶民文化史の有益な資料として活用できると思う。

漫才は庶民の日常会話で語る芸である。その会話のやりとりの中で、例えばお世辞を意味する「上手口」などという、死語に近い言葉もよく使われているし、尾籠な言葉や、卑猥な言葉もよく出てくる。100年前と今とでは庶民の話し言葉も変わったことが分かる。また、現在なら完全にセクハラになるような男女差別の話題や職業差別も笑いのネタになっている。漫才の文句カードは庶民の日常会話を知ることができる有益な資料であり、どのような言葉や言い回しが使われていたかなど、昭和期の日本語研究にも役立つデータといえる。

## 目次

解説「漫才文句カード集」	.....	(10)
凡例	.....	(3)
秋山右楽・秋山左楽 [写真]「甲子園(上・下)」タイハイレコード (56332AB)	.....	3
秋山右楽・秋山左楽「角力狂時代(上・下)」センターレコード (5541AB)	.....	9
浅田家寿郎・花月志津子「姉妹と鏡台(上・下)」タイハイレコード (R1065AB)	.....	13
浅田家ジュウロウ・ミスワカバ「新婚旅行(上・下)」タイハイレコード (10051AB)	.....	17
浅田家日佐丸・平和ラッパ [写真]「統制巡礼(上・下)」タイハイレコード (N50041AB)	.....	21
芦の家雁玉・林田十郎 [写真]「茶碗むし／山問答」タイハイレコード (4519AB)	.....	25
荒川九州男・河内家米奴「滑稽しゃべり(上・下)」ツルレコード (6385AB)	.....	29
荒川千成「赤穂義士数へ唄(上・下)」オリエントレコード (1769AB)	.....	33
伊勢廻家利若・伊勢廻家四七子「カフェーロマンス／幡随院長兵衛」スタントレコード (2960AB)	.....	35
市川福治・市川八重子「辰ちゃんに(浪花節入)(上・下)」シカドレコード (253AB)	.....	37
一輪亭花蝶・三遊亭川柳「狸寝入り(上・下)」コッカレコード (8231AB)	.....	41
浮世亭歌楽・ヤナギ妙子「夜の京都(上・下)」タイハイレコード (56543AB)	.....	45
浮世亭出羽助・河内家一春「温泉から港へ(上・下)」ニッソーレコード大衆盤 (S1513AB)	.....	49
浮世亭出羽助・荒川歌江「ヘンとヘン(上・下)」ツルレコード (6044AB)	.....	53
浮世亭出羽助・河内家一春「漫談電車(上・下)」ニッソーレコード (5021AB)	.....	56
浮世亭出羽助・荒川歌江「婿選び(上・下)」ツルレコード (6238AB)	.....	60
河内家正春・河内家春子「アイウエ王国／小原節」ニッソーレコード (4004AB)	.....	64

河内家正春・河内家春子「彼女と易者(上・下)」スタンダードレコード (2750AB).....	67
河内家正春・河内家春子「民衆的英語(上・下)」オリムピアレコード (105AB).....	71
京の福太郎・笑福亭福円「宴会戻り」コッカレコード (10047AB).....	75
五條家菊二・五條家松枝「新旧流行歌吹寄せ浄瑠璃(上・下)」コロムビア (A1387).....	79
桜川末子・桜川花子「数え唄(上・下)」スタンダードレコード (2630AB).....	81
桜川末子・桜川花子「震災数へ唄(一・二)」アサヒレコード (237AB).....	85
桜川末子・桜川花子「りん廻し(上・下)」ソルレコード (643AB).....	87
三遊亭柳枝・花柳一駒「写真」アメリカ土産(上・下)」テイチクレコード (5787).....	93
三遊亭柳枝・花柳一駒「あら 別嬪さん(上・下)」タイハイレコード (1321AB).....	97
三遊亭柳枝・花柳一駒「一銭ちがひ(上・下)」タイハイレコード (S142AB).....	101
三遊亭柳枝・花柳一駒「田舎者(上・下)」タイハイレコード (4117AB).....	105
三遊亭柳枝・花柳一駒「写真」男女五分五分(上・下)」テイチクレコード (5712).....	109
三遊亭柳枝・花柳一駒「写真」初夢(上・下)」テイチクレコード (5611AB).....	113
鯨美団「七福神」写真 コッカレコード (3193AB).....	117
松鶴家八千代・松鶴家千代八「写真」八ちゃんのとろろ(上・下)」テイチクレコード (6256).....	119
松鶴家光晴・浮世亭夢若「写真」母校と原籍(上・下)」プレザンレコード (6008AB).....	123
菅原家千代丸「芋の説経(上・下)」ピジョンレコード (531).....	127
鈴木源十郎一行「御殿舞(柱建/七福神)」ニッソーレコード (5075AB).....	131
鈴木源十郎一座「早口万歳」ホームレコード (B936).....	133
砂川菊丸・砂川照子「写真」菊丸のマネキン(上・下)」ニッソーレコード (6019AB).....	135
砂川菊丸・荒川歌江「ナンセンスデパート(上・下)」変態東雲館(下)」ソルレコード (6417AB).....	139
砂川菊丸・砂川照子「写真」笑話音頭/新世帯」ニッソーレコード (6339AB).....	143

砂川捨次・河内家芳子「資産ちがひ(上・下)」スタンダードレコード (3157).....	147
砂川捨次・荒川歌江「写真」捨次の智慧自慢(上・下)」テイチクレコード (5365).....	151
砂川捨次・河内家芳子「捨次の出鱈目(上・下)」テイチクレコード (5612AB).....	155
砂川捨次・荒川歌江「捨次の兵隊(上・下)」タイハイレコード (1269AB).....	159
砂川捨次・荒川歌江「捨次の嫁えらび(上・下)」タイハイレコード (1324AB).....	163
砂川捨次・荒川歌江「棚おろし(上・下)」サロソレコード (579AB).....	167
砂川捨次・荒川歌江「ぬけ文句/都々逸」キリンレコード (K716AB).....	171
砂川捨次・河内家芳子「八問答(上・下)」タイハイレコード (1352AB).....	175
砂川捨次・荒川歌江「山問答/捨次のカフェー遊び」タイハイレコード (1219AB).....	179
砂川捨次・中村春代「写真」芋の説教/春雨(替唄)」リーガルレコード (66862).....	183
砂川捨次・中村春代「運命判断千支万歳(上・下)」オリエンタルレコード (4709AB).....	187
砂川捨次・中村春代「写真」カンカン問答(上・下)/赤い顔」オリエンタルレコード (3651AB).....	189
砂川捨次・加藤瀧子「廓ぞめき五段返し/掛合問答」ピコーキレコード (1009AB).....	193
砂川捨次・中村春代「写真」県々づくし(上・下)」リーガルレコード (67358).....	196
砂川捨次・加藤瀧子「写真」戸籍調べ/金色夜叉」オリエンタルレコード (2662AB).....	202
砂川捨次・中村春代「今昔数え唄(上・下)」オリエンタルレコード (4096AB).....	206
砂川捨次・中村春代「写真」地獄のラヂオ(上・下)」オリエンタルレコード (4414AB).....	208
砂川捨次・中村春代「写真」食道楽(いろはかるた)(上・下)」オリエンタルレコード (3807AB).....	212
砂川捨次・加藤瀧子「書生唄合財袋(上・下)」オリエンタルレコード (2635AB).....	216
砂川捨次・中村春代「写真」尻取り問答(上・下)」オリエンタルレコード (4603AB).....	220
砂川捨次・中村春代「写真」捨丸の健康診断(上・下)」オリエンタルレコード (3845AB).....	224
砂川捨次「即席問答(上・下)」オリエンタルレコード (2784AB).....	228
砂川捨次「写真」玉章の文句(上・下)」オリエンタルレコード (3226AB).....	232

## 凡例

### 一 本書の内容

本書はSPレコード蒐集家の岡田則夫氏の個人所蔵コレクションより、厳選した上方漫才一〇八編のSPレコード盤に封入された文句カードを復刻したものである。

大正期から昭和前期にかけて市販・流通したものであるため、保存状態が万全ではなく、一部に不鮮明なところが散見されるがご了承願いたい。

本書に収録した演目の中には、今日から見れば不適當と思われる語句や表現があるが、当時の時代背景を考慮しそのまま掲載した。

### 二 目次

文句カード冒頭に演者の肖像が掲載されている場合、演者名の後に $\boxed{\text{写真}}$  $\boxed{\text{挿画}}$ というアイコンで示した。

### 三 本文の排列

演者（漫才コンビの先頭の芸名）の五十音順、次に演目の五十音順に排列した。

### 四 索引・一覧

#### (一) 演者索引

演者索引では漫才コンビのどちらからでも引くことができるように個々の芸名の五十音順で配列し、該当ページを示した。

「芦の家雁玉」、「芦廼家雁玉」など、同一人物でありながら文句カード上の表記が分かれている場合、一般的な表記を採用した。文句カード上の演者名表記が誤記と思われる場合もあるが、索引上では原則、原本通りとし、一般

的な芸名を（ ）内に補記した。

#### (二) 演目索引

演目の五十音順に配列し、該当ページを示した。一枚のレコードに複数の演目が収録されている場合も各演目から引くことができるようにした。

#### (三) レコードレーベル別一覧

レコードレーベル名の五十音順、次に音盤番号順に排列し、該当ページを示した。

#### (四) 記載形式

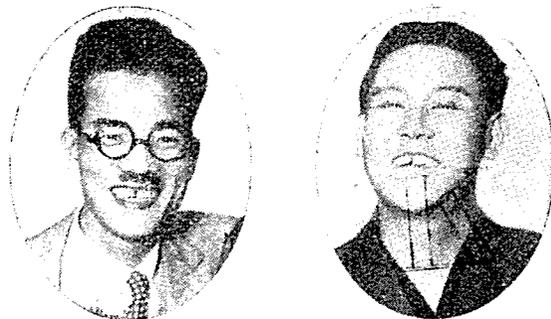
原則、旧字は新字に改めたが、旧仮名遣いはそのままとした。

Nitto Record  
6508-A·B

公は日本の忠臣ですよつてんナ「ア、あれがまあ真中ですか」「いゝえそりや中心地とは違ふがナ、君は歴史を知らんワイ」「ア、轢死は彼奴はあわれですネ」「そりや君あわれなものも在れば又ネエ」「はア「勇ましいのも在るか」「勇ましい！」「はいナ「僕はそんな知らんネエ」「ふーん「此間僕の横で有つたんなかねエ」「はア「親子三人連れですがネエ」「はア「とてもあわれでしたよ」「そりや君汽車で轢れたんやないか」「父親が永年の患ひですワ……」「おい一寸待ちナそんないやらしい話をするな、何と云つても楠公は偉いもんですナ」「ハ、ア「父は大楠公「はあ「子は大楠公ちのうのやよつてナ「亞鉛軟膏「そりや君薬やないかそれからねエ、早速靖國神社へお参りしましたがナア」「ア、そうですか」「ふん「靖國神社へ行くのやつたらねエ」「はア「一寸僕に知らして呉れたらねえ」「あゝそうか」「僕も行くんでしたよ」「そんなら靖國神社に君の親類のお方でもお祀りして在るの」「はあ僕のねエ」「弟と兄が祀られてるんですワ」「おゝ兄弟二人共……」「はア「ふーん「兄はねエ」「ほう「日露戦役でやられたんです」「ほう何處の戦で……」「オイ／＼蛤御門でな事君知りやせんがな」「あゝそうか」「ふん何處の戦や」「ア、あれはねエ「日露戦役は至るところが激戦々々やつたよつてなア」「そうです共」「ふん何處の戦や」「さああれ何處やつた、はつきり知らんのですが「頼りないナ此の男、兄貴の戦死した處判らんのかいナ」「それがもう古い事ぢやからねえ」「何ほ古うても……まああの時代でしたら、きつかつたのは奉天ネ」「奉天、そうですワ奉天の激戦でいかれたんですワ」「奉天か」「はあ「君！奉天もきつかつたけれ共ネ」「はあ「南山血染の聯隊旗……」「あゝそう／＼一寸待つた」「エ、それがす／＼」「ア、ナ、南山ですワ」「南山かいナ」「今よう／＼思出した」「おいしつかりしいや君」「敵はねエ」「ふん「一齊に

日東蓄音器株式會社

Nitto Record  
6508-A·B



萬歳 僕の兄弟

横山エンタツ  
花菱アチャコ

「あの四五日見なかつたがねえ」「はア……」「何處か行つとつたのか？」「あの母親を連れましてナ」「あゝ」「一寸東京見物に行きました」「東京見物？」「うゝん「お母さんがあるんですか」「あゝまだ壯健でビチ／＼して居ます」「そりや君いゝですなあ」「いや實際ネ」「お母さんはお一人ですか？」「はあ最近……おゝ何を云ふてんね君、お母さんは何處へ行たかて一人やがな」「ア、こりや失禮！」「どこの世界に三人も四人も君お母さんがあるかいナ」「邪魔になるネ」「當り前やがな君」「ア、一人ですか、」「さあいナ」「然しまあ淋しいですネ」「何が……？」「そねえおかしけな、もの云ひをしないナ……で母親を連れましてな」「はあ「先づ第一番に二重橋を参拜しまして」「はあはあ「それからこの楠公の銅像を見せましたらナ」「はあ／＼」「そしたら母親が、馬鹿に喜びましてナ」「そりやそうでしょうねエ」「何と云つても楠

日東蓄音器株式會社

死んだんですワ「溝へはまつて?」「はア「鼠ぢやがナ名譽の溝はまり、そんな君馬鹿な事も云ふて居られんが、實際君とこの兄弟余り自慢出来んで」ところがねえ「はア「僕とは自慢になるんです「何でえナ「私とこ男兄弟が三人とネ「はア「女が一人「ふん「合計四人ですがねえ「はあ「この三人がねえ「はあ「全部兵隊に行つて来たんですサ「そりや實際一家のほまれやなア「親父も之を自慢してますよ「君はどここの兵隊やノ「僕は大阪ですから四師團です「あ、四師團か「はア「フーン四師團の何聯隊?」「あの近衛騎兵ですワ「嘘つけ君!近衛騎兵は東京やないか「あ、そうですか「大阪の四師團の何聯隊やの?」「さあそれがねえ「聯隊はねえ「それがもう……「それがねえやありませんが君、しつかりしはれえナ「あ、君の居た聯隊判らんのかいナ「それがもうねえ……「はア八聯隊か?」「いや!違ひますワ「ア、そう「はア「そんなら君三十七聯隊やがな「ア、三十七聯隊!」「は、ア、ハア三七やなア「あ、三七ですワ「そうか「二十一で行たんやから「そねおかしけな勘定すな、うーん三七か!」「はア「で何中隊?」「エ……中隊ですワ「違ふがな六中隊やがナ「はア有難う「は、ア「六中隊です「ア、ア「ア、ア「で何班やノ「エ、前科ですか「何科と違ふがナ君の居たねえ「はア「つまり寝起きしとつた室は何號やちゆうネ「室はねえ「はア「新館の二十五號室「何やこう大學病院へでも行てる様ななあ、い、えそしてネ君は星はいくつやの?」「星はねえ「はあ「あの一つですワ「は、ア「そんなら君、二等兵やないか「二等兵です「ア、そうかなあ「は、ア「それで君の成績たいがい判つてるがナ「そういふ事云ふがねえ「はア「僕が星一つでしょう「ふん「兄も星一つですからねえ「阿呆らしい事云ひないナ、兄さんは星二つでんがナ「いや僕の兄ですよ「いやそりや知つてるがナ名譽の戦死をしたな

機關銃をひいて「はア「攻め来る日本軍に向つて、貴方狙ひ討ちですよ「たまらんなア「進む者くバタ／＼の將棋倒し「あわれな事ぢやなあ「全滅々々ですワ「そうですなア「兄もそのうちの一人であります「ア、ア、ア、ア「はア「ふん「兄さんは敵弾の爲に倒れたつたんやなア「それがねえ「ほう「不思議ですわねえ「何や「兄はネエそれ丈けの亂射亂撃の中にありましても「ふん「一發の弾丸も受けなかつたんです「ほう「弾丸に當らんと、どうして斃れたの?」「あのねえ「ふん「あの大砲の下敷きになつたですワ「何!大砲の下敷き?」「はあ「ふん「名譽の下敷き「そない不細工な死方あるやろか……」

(下)

「弟は何處でやられてんナ「これはねえ「ふん「中野電信隊にゐてネ「ほう「復習で濟南に行つとつたですワ「そんなら君濟南事變に會ふてんな「あれでねえ「ふん「兎に角味方はねえ「はあ「十四名「あら「敵は二百名です「ふん「一齊に機關銃でもつてバラ／＼と打つて来たんです「そりや君たまらんワイ「あんな機關銃で身体を狙れたらねえ「はいナ「丁度君ミシン掛ける様なもんですワ「うん「ブツ／＼ですからねえ「ア、蜂の巢見たいなナ「アツと云ふ間にねえ「はア「十四名ことごとく枕を並べたです「其中に君弟はながまちつてはつたんか「勿論です「ア、ア、ア、氣の毒なねえ「はア「ほ、今度は弟は敵弾の爲に倒れたんやろねえ「それがねえ「ほん「不思議ですわねえ「何や一弟はねえ、それ丈けの亂射亂撃の中にありましても「ほん「一發の弾丸も受けなかつたんです「君のこの兄弟はよく弾丸に當らないのねえ「はア「今度はどうして死にはつたノ「あの溝へはまつて



# Nitto Record

6508-A・B

ればねエ「はア「星は必ず一つふえるのん」ところが……「もつて君二つぢやないか」ところがねエ「ほう「兄はねエ「ふん「初め無かつたんですワ「アツせんべらぼんで満洲へ行きはつた？「ほん氣のえゝ男でしたから「すほらな兵隊やなア「僕が一つでしよう「ふんゝゝ「兄が一つ「はいな「そこいね「はア「弟が一つ「ふんゝゝ「こりや遺傳性ですワ、「これ胃癌みたいに云ひないナ「あのネ「ふん「又こゝに奇妙な事があるんですヨ「アゝ、そう「たつた一人の妹がねエ「はア「これが星一つですワ「は、ア肩に一つ有るのんか？「いゝや左の目に「ア、目に星が入つてあるのんか……」。

社 會 式 株 器 音 蓄 東 日

編者略歴

岡田 則夫（おかだ・のりお）

東京都生まれ。日本大学文理学部卒業。大衆芸能研究家・SPレコード収集家。演芸評論家小島貞二に師事。著書に「SPレコード蒐集奇談」など。日外アソシエーツより「デジタル復刻版 百花園 全 240 号」（2014）、「三芳屋落語速記本復刻 明治大正落語名人選集」（2018）を刊行。

---

## 特選上方漫才 SPレコード文句集成

---

2024 年 6 月 25 日 第 1 刷発行

編 者／岡田則夫

発 行 者／山下浩

発 行 行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

---

印刷・製本／株式会社平河工業社

---

©Norio OKADA 2024

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-3014-0

Printed in Japan, 2024